

はじめに

みなさんの家はペットを飼っていますか？

身近にペットを飼っている人はいますか？

日本の家庭では、約 883 万頭のネコが飼育されています。

これはイヌよりも約 180 万頭も多く、

ネコといっしょに暮らしている人は多いかもしれません。

この本では、ネコとみなさんが、

少しでも長くいっしょにいられるように、

知っておいてほしいこと、考えてほしいことをしょうかいしています。

どうして高いところが好きなの？

私のごはんをあげてもいい？

地震が起きたらいっしょににげられる？

そのこたえは、この本の中にあります。

ペットは大切な家族です。

健康で、少しでも長く生きられるように、

ネコの体のしくみや役割、病気のことなどを学んで

毎日のお世話にいかしてください。

*一般社団法人ペットフード協会
「2022年（令和4年）全国犬猫飼育実態調査」より
**イヌは約705万頭

し
知っておこう！

く どうぶつ けんこう びょうき
いっしょに暮らす動物の健康・病気のこと

ネコ

もくじ

はじめに 2

ネコの体のしくみ 4

● くわしく知ろう 顔 6

● くわしく知ろう 体 8

● 中はどうなってるの？ 頭と体 10

● ネコの健康を守ろう 12

● ネコがかかりやすい病気 14

コラム

● ネコからヒトにうつる病気 17



● ネコの命を守るワクチン 18

● ネコの状態を見よう 20

● これって病気？ 22

● 動物病院で健康チェック 24

● ネコのごはん 26

● 運動とお手入れ 28

● かわいい子ネコ 30

● ネコの安全を守ろう 32

● 年をとったら 34

● ひなんするときは 36

Q A おし 教えて！ 獣医さん 38

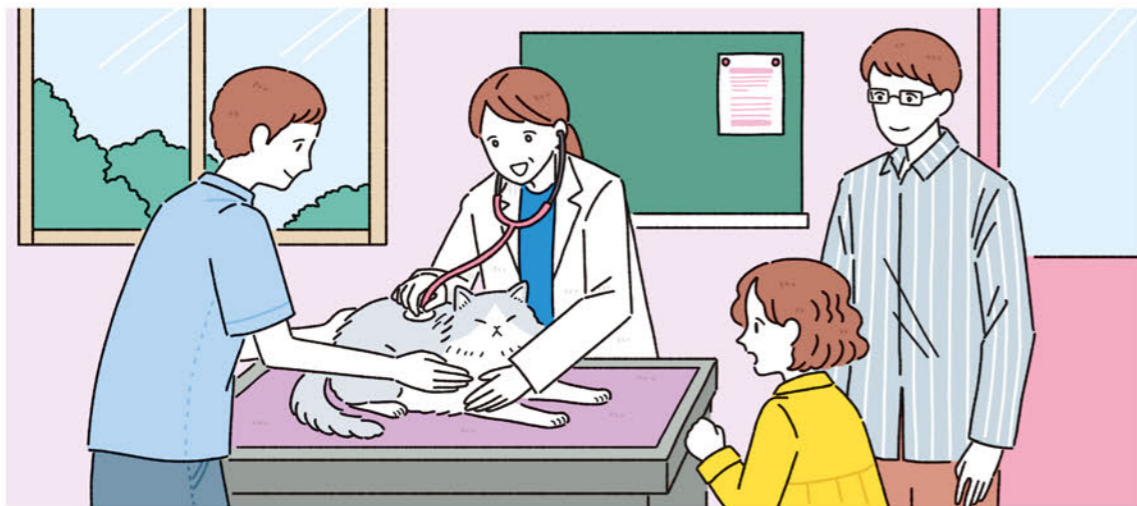
この本の内容や情報は、制作時点（2023年11月）のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

治療にはお金がかかる

ヒトと同じように、ネコも病気やケガがわかったら、病院で治療をします。治療にはもちろんお金がかかりますが、ネコには私たちのような健康保険の制度がありません。治療費は、全額しはらいが必要です。医療技術が進み、大切な家族のために高

度な治療を望む飼い主も増えていますが、高度な治療は高額になることがあります。

ネコを飼うということは、命をあずかる責任に加えて、治療やごはんなど生きるためのお金が必要です。ネコが健康的な生活をおくれるように、サポートしましょう。



スキンシップで健康管理をする

ネコが病気になったりケガをしたら、できるだけ早く治療をしてあげたいものです。毎日ネコとふれあえば、「いつもは平気なのに、今日はさわると痛そう」「皮ふがはれている気がする」と、変化に気づきやすくなります。

ネコの健康を守るためにも、日ごろからスキンシップを心がけましょう。



ネコからヒトにうつる病気

ネコにかまれたり、ひっかかれたりすることでヒトにうつる病気があります。また、はいせつ物を片づけるときにうつってしまうこともあり、注意が必要です。

ネコをさわったあとの手洗いはもちろん、キスをするなどの密着も危険です。ネコにかまれたり、ひっかかれたりしたあとに体の不調を感じたら、病院に行きましょう。

ネコからヒトにうつるおもな病気

- 猫ひっかき病
- トキソプラズマ症
- 皮ふ糸状菌症
- キャンピロバクター感染症
- サルモネラ感染症
- カプトサイトファーガ感染症
- パスツレラ症
- 大腸菌症
- 破傷風

病気から身を守るために注意しよう

のらネコにはさわらない

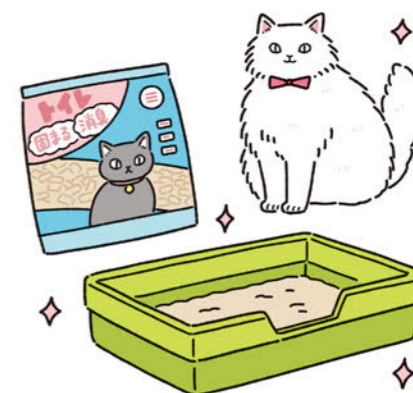


トイレやケージのそうじは手ぶくろとマスクをつける

ネコをさわったら手を洗う

スキンシップはほどほどに

トイレはいつもきれいに



かわいい子ネコ

子ネコはストレスや病気に弱い

引っこしたり、知らない人や物に囲まれたり、環境が変わると、ネコはとてもストレスを感じます。子ネコは特にストレスに弱く、げりをしたりごはんを食べなくなったりすることがあります。

ストレスが大きいことや、長くストレスを受けていることが原因で、病気になってしまうこともあります。様子がおかしいと感じたら、早めに病院に連れていきましょう。



子ネコが成長すると



ネコの体は成長が早く、生まれてから1年ほどでおとなの体になっていろいろなことができるようになります。

成長のスピードはネコによってちがいますが、メスの場合は、5～8か月で子どもが産めるようになり、高い声で鳴くような「発情期」をむかえます。オスは5～8か月、早ければ4か月で「性成熟」をむかえます。しかし、1歳になるまでの子づくりは、体の負担になることもあります。

子ネコは小さくてかわいらしく、ついっしょに遊びたくなります。しかし、おとなのネコに比べて心も体もまだ発達していません。子ネコを育てるときの注意点を覚えておきましょう。

ネコの体を守る「避妊手術」「去勢手術」

飼いネコのメスは、1年に約3回、1回につき2週間ほど発情します。

妊娠すると約60日間おなかに赤ちゃんがいて、1回の出産で3～6匹の子ネコを産みます。子ネコはかわいいですが、出産は母ネコの体に負担がかかることを忘れてはいけません。その負担を減らす方法の一つが、避妊手術です。オスには、去勢

手術を行います。

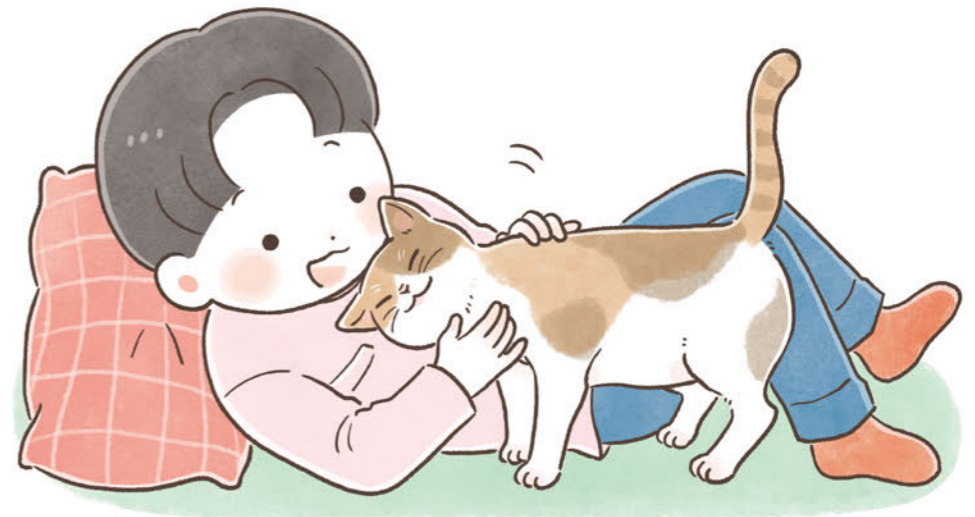
避妊や去勢をすると、子どもをつくれなくなります。しかし、ネコのストレスは軽くなり、性格がおだやかになるともいわれています。また、オス・メスそれぞれに特有の病気にもかかりにくくなり、感染症になるリスクが下がり、病気の予防にもつながるのです。

避妊手術で予防できる病気や行動

- 子宮や卵巣の病気
- 乳腺のできもの
- 発情による異常行動
- 望まない交配

去勢手術で予防できる病気や行動

- 精巣や前立腺の病気
- 肛門の周りの筋肉の病気やできもの
- マーキングや闘争
- 望まない交配



避妊や去勢手術をすると、ストレスが軽くなる。